

三方領知替200年記念事業報告書



行田市三方領知替200年推進協議会

令和6年3月

目次

1. 「三方領知替」とは	4
2. 実施期間	5
3. 「三方領知替200年」ロゴマーク	5
4. 「三方領知替200年」のぼり旗、ポスター、タペストリー、横断幕、懸垂幕、公用車マグネット ...	7
5. 記念事業	12
(1) 特別記念事業（4事業）	12
(2) 冠事業（19事業）	17
(3) 広報・宣伝・PR等（6事業）	38
(4) その他主な取組み（写真集）	45
6. 参考資料集	46

1. 「三方領知替」とは

- 三つの大名家が同時に玉突き状態で転封(江戸時代、大名の領地を幕命で替えること)となること。今から200年前の文政6年(1823)、忍藩主 阿部正権が白河へ、白河藩主松平定永が桑名へ、桑名藩主松平忠堯が忍へ転封となる三方領知替が行われた。
- このことが縁となり、行田市・桑名市・白河市は平成10年に友好都市を締結し、経済や文化、スポーツなど様々な分野で交流が続けられている。
- 今年は、この歴史的史実からちょうど200年、さらには友好都市25周年を迎える。市では様々な取組みを通じてこの記念すべき年を皆さまと共に祝いしていく。



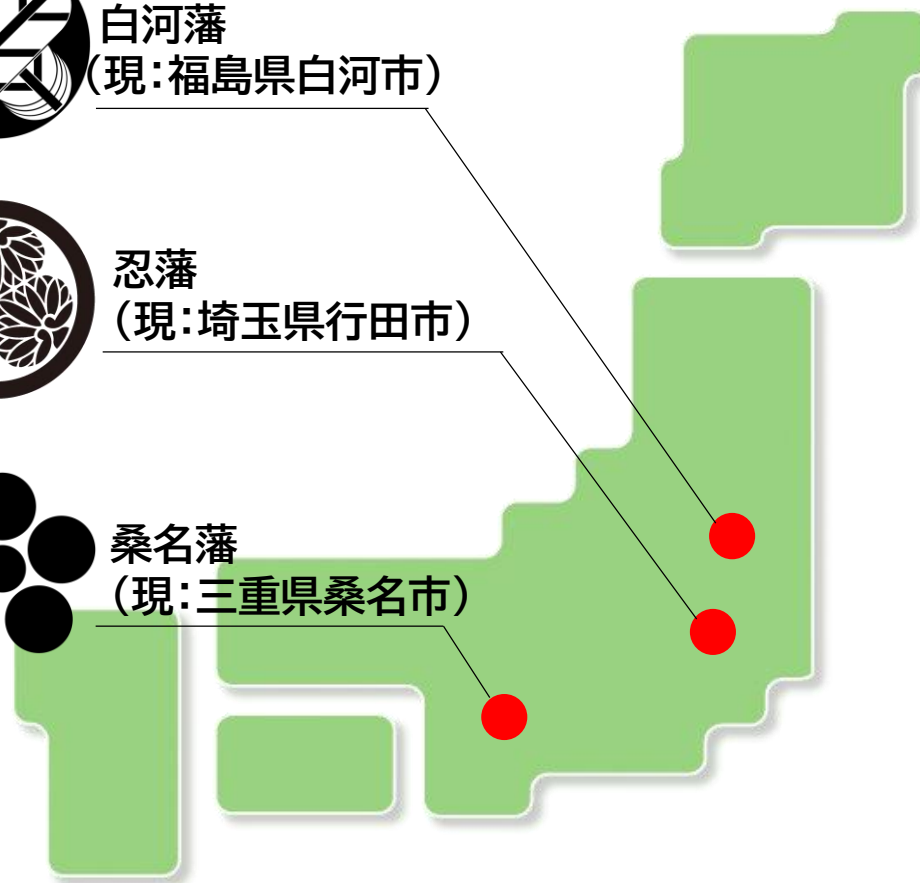
白河藩
(現:福島県白河市)



忍藩
(現:埼玉県行田市)



桑名藩
(現:三重県桑名市)



2. 実施期間

令和5年7月から同年12月まで

※ただし、一部事業については令和6年3月まで実施

3. 「三方領知替200年」ロゴマーク

本市の歴史的史実である忍藩、桑名藩、白河藩における「三方領知替」から200年が経過したことを広く周知するため、「三方領知替200年」ロゴマークを作成した。

< ロゴマークデザイン >



- ロゴマークは全6種類
(5. 参考資料集の「ロゴマーク使用取扱要領」を参照)
- 市の事業や市内外の各団体が実施した各種事業の
ポスター、チラシ等に使用

「三方領知替200年」ロゴマーク 【状況写真】



市内事業者が記念に販売した「地下足袋」

記念として市に寄贈された「うちわ」



市内店舗が記念に販売した「クッキー」



市報ぎょうだ9月号



広報しらかわ11月号



うまかんべ横丁チラシ



三方領知替解説入りの名刺(裏面)

三方領知替とは

文政6年(1823年)、忍藩主・阿部正権が白河へ、白河藩主・松平定永が桑名へ、桑名藩主・松平忠亮が忍へ転封となる三方領知替が行われました。

このことが縁となり、行田市・桑名市・白河市は平成10年(1998年)に友好都市を締結し、経済や文化、スポーツなど様々な分野で交流が続けられています。

今年は、この歴史的史実からちょうど200年、さらには友好都市25周年を迎えます。



市で作成した大型バックボード



白河市議会 だよりVol.72



選挙で希望者に交付した「投票済証明書」



4. 「三方領知替200年」

のぼり旗、ポスター、タペストリー、横断幕、懸垂幕、公用車マグネット

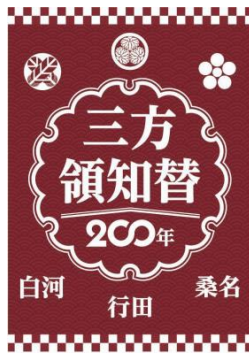
市民や事業者、関係団体の皆さまと共に三方領知替200年という記念すべき節目の年を祝い、機運醸成を図るため、「三方領知替200年」のぼり旗、ポスター、タペストリー、横断幕、懸垂幕、公用車マグネットを作成した。

●各種デザイン

<のぼり旗>



<ポスター>



<タペストリー>



<横断幕>



<懸垂幕>



<公用車マグネット>



掲出期間	令和5年9月～令和5年12月
事業費	3,829千円(うち寄附金3,000千円)

「三方領知替200年」のぼり旗
【状況写真】

<デザイン>



← 県道128号
(旧国道125号)

ぶらっとぎょうだ →



← 教育文化センター
「みらい」

さきたまテラス →



「三方領知替200年」タペストリー
【状況写真】

<デザイン>



◀ 県道128号
(旧国道125号)

県道行田蓮田線 ▶



◀ 八幡通り

東行田駅周辺 ▶



「三方領知替200年」横断幕
【状況写真】

<デザイン>



▼ 郷土博物館前の歩道橋



▼ 市役所入口歩道橋



▼ 行田市桜町歩道橋



▼ ときわ通歩道橋



▼ 泉小学校前歩道橋



▼ 郷土博物館入口



▼ 市役所本庁舎入口



▼ 行田市駅改札出口



「三方領知替200年」ポスター・懸垂幕・公用車マグネット
【状況写真】

<デザイン>

三方領知替
200年

市役所前 ▶



<デザイン>



<デザイン>



▼ 行田市駅跨線橋



▼ 埼玉県行田地方庁舎入口



▼ 市役所本庁舎2階



5. 記念事業

(1) 特別記念事業（4事業）

三方領知替200年を記念して、特別に実施した市主催などの事業

事業名	ページ
三方領知替200年 行田市・桑名市・白河市友好都市締結25周年記念合同企画展 武門の遺産(レガシー)－徳川家を支えた忍・桑名・白河－	13
三方領知替200年記念 マンホールカードセット配布及びカラーマンホール展示事業	14
公立保育園三方領知替200年記念給食	15
三方領知替200年 記念講演会・トークショー	16

- ▶ 3市友好都市締結のきっかけとなった三方領知替から200年、また友好都市締結25周年となる節目の年を記念した合同巡回展を開催した。松平下総守家・松平越中守家・阿部家の3大名家と徳川将軍家との関わりを示す資料、それぞれの城下に関わる資料などを中心に展示を行い、3市の交流を推進するとともに、3市の歴史と文化を広く社会に周知した。

日 時	令和5年9月16日(土)～10月15日(日)
場 所	行田市郷土博物館 常設展示室・企画展示室
事業内容	<p>● 展覧会 白河市(小峰城歴史館)、行田市(行田市郷土博物館)、桑名市(桑名市博物館)の順で、3市の博物館施設を巡回展示した。</p> <p>白河市: 8月11日(金)～9月10日(日) 行田市: 9月16日(土)～10月15日(日) 桑名市: 10月28日(土)～11月26日(日)</p> <p>● ギャラリートーク</p> <p>9月16日(土) 参加者 午前26名 午後18名 計44名</p> <p>9月24日(日) 参加者 午前18名 午後22名 計40名</p> <p>10月 7日(土) 参加者 午前38名 午後25名 計63名</p>
事業費	3,180千円(行田市負担分)

入館者数	9,196名
担当部署	生涯学習部 郷土博物館 (主催)行田市・桑名市・白河市合同企画展実行委員会 (共催)行田市、桑名市、白河市、行田市教育委員会 桑名市教育委員会、白河市教育委員会

【状況写真】

▼ 企画展示室の様子



- ▶ 3市友好都市の歴史やマンホール蓋の由来を紹介した台紙と3市のマンホールカードを1セットにして3市の各会場で配布した。各日とも予定していた配布数に達し、大変好評であった。また、市役所本庁舎や郷土博物館にて配布するマンホールカードと同じカラーマンホール蓋を展示した。

日時	<ul style="list-style-type: none"> ●マンホールカードセット配布 令和5年11月9日(木)、12日(日) ●カラーマンホール展示 令和5年10月23日(月)～令和5年12月3日(日) いずれも午前9時～午後4時まで
場所	<ul style="list-style-type: none"> ●マンホールカードセット配布 行田市郷土博物館 ●カラーマンホール展示 行田市役所本庁舎ロビー、行田市郷土博物館
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●3市とも11月9日(木)からマンホールカードセットを各会場で希望者1人につき1セット配布 ●マンホールカードと同じ実物のカラーマンホール蓋を市役所本庁舎や郷土博物館にてマンホール蓋についての説明を載せたキャプションを併せて展示
制作個数	<ul style="list-style-type: none"> ●マンホールカードセット配布 300セット(各日150セット)
担当部署	都市整備部 下水道課

【状況写真】

▼ マンホールカード (表面)



(裏面)



▼ カード配布会場の様子



▼ 3市市長・議長記念撮影



▼ マンホール展示(屋内)の様子



- ▶ 公立保育園において三方領知替200年を記念して友好都市である行田市・白河市・桑名市の郷土料理を給食の献立に取入れ、園児に親しんでもらう取組みを実施した。

日時	令和5年11月20日(月)、21日(火)、22日(水)
場所	持田保育園、長野保育園、南河原保育園
事業内容	<p>●3市の郷土料理を給食で提供 白河市:白河ラーメン 桑名市:しぐれごはん 行田市:ゼリーフライ</p> <p>公立保育園3園、園児総勢194名に対して、友好都市である3市の郷土料理を提供し、園児に大変好評であった。</p>
担当部署	健康福祉部 子ども未来課 (持田保育園、長野保育園、南河原保育園)

【実施状況】

▼ 園児に提供された3市の郷土料理



白河ラーメン

しぐれごはん

ゼリーフライ

- ▶ 三方領知替200年、友好都市締結25周年を記念し、歴史に関する講演会・トークショーを開催した。講演会は三方領知替に関する基調講演とした。トークショーは3市には忍城、桑名城、小峰城という城郭があり、城下町として栄え、領知替による城主の交替が友好都市のきっかけとなったことから、城郭をテーマとし、講師はお城好きで知られる落語家の春風亭昇太氏と、城郭研究の第一人者である名古屋市立大学教授千田嘉博氏に依頼した。当日は多くの来場を得て、三方領知替の歴史や、各城郭の特徴などについて学ぶことができた。とくにトークショーは講師の軽妙なトークもあり、大いに盛り上がった。

日時	令和5年12月24日(日) 13:30~15:30
場所	行田市産業文化会館 ホール
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●基調講演 演題:文政6年の三方領知替 講師:行田市郷土博物館長 鈴木紀三雄 ●トークショー 演題:忍城・桑名城・小峰城ー三方領知替の城ー 講師:落語家 春風亭昇太 名古屋市立大学教授 千田嘉博
事業費	1,322千円
来場者数	800名
担当部署	生涯学習部 郷土博物館 (主催) 行田市・行田市教育委員会

【状況写真】

基調講演の様子 ▶



◀ トークショーの様子



(2) 冠事業 (19事業)

例年開催されている各種事業に「三方領知替200年記念」の冠をつけて実施した事業

事業名	ページ
第33回テーマ展「描かれた忍城」	19
第30回 市民祭・行田浮き城まつり	20
第6回ぎょうだ郷土かるた大会	21
第31回浮き城のまち行田こどもまつり	22
第70回市民体育祭	23
友好都市職員交流研修	24
第38回浮き城のまち行田 少年の主張大会	25
第36回企画展「馬に祈りをのせて」	26
令和5年度行田市・白河市・桑名市友好都市スポーツ交流事業	27
第44回 行田商工祭・忍城時代まつり	28

※事業数が多数あるため「冠」等は省略

(2) 冠事業（続き）

事業名	ページ
三市友好都市観光物産展	29
埼玉県芸術文化祭2023地域文化事業 第75回行田市文化祭	30
第25回行田市障がい者(児)スポーツレクリエーション大会	31
行田市人権教育合同学習講演会	32
第65回“浮き城のまち行田”駅伝競走大会	33
第38回行田市小中学生将棋大会	34
第32回行田市なわとび大会	35
第14回行田市少年少女囲碁大会	36
第26回公募行田市美術展	37

※事業数が多数あるため「冠」等は省略

- ▶ 行田市郷土博物館において、戦国時代から明治時代にかけて忍城を描いた22枚の城絵図をはじめ、城郭の変遷を物語る古文書や古記録をあわせて展示することで、現在の市域の景観やまちなみに通じる城郭と武家屋敷の成り立ちとうつりかわりを紹介した。

日 時	令和5年7月8日(土)～9月3日(日)
場 所	行田市郷土博物館 企画展示室
事業内容	<p>●展覧会 三方領知替に伴う城郭変遷も展示構成の1セクションとして紹介し、領知替が武家だけではなく、当時の忍藩領に暮らした人びとに広く影響を与えた出来事であったことを、実物の資料を中心に紹介した。</p> <p>●公開講演会 秀吉の水攻めと忍城 ～洪水氾濫シミュレーションから水攻めに迫る～ 日時:8月5日(土)午後2時から 講師:東京都立大学学術情報基盤センター 特任准教授 根元裕樹 会場:講座室 参加者:92名</p> <p>●展示解説会 7月9日(日)、15日(土)、22日(土)、29日(土) 8月6日(日)、12日(土)、20日(日)、27日(日) 9月2日(土)、計9日間 参加者:計214名</p>

事業費	1,320千円
入館者数	17,245名
担当部署	生涯学習部 郷土博物館

【状況写真】

▼ テーマ展「描かれた忍城」展示の様子



▶ 行田の夏を彩る『浮き城まつり』として既に定着しており、市内外から多くの観光客の来場を得た。また、地域経済の活性化及び催事を通じて市民相互の交流の促進が図られたほか、浮き城のまち行田として本市のイメージアップに寄与した。

日時	<ul style="list-style-type: none"> ●令和5年7月29日(土) 16時～20時30分【交通規制16時～21時】 ●令和5年7月30日(日) 15時～21時【交通規制15時～21時30分】
場所	<ul style="list-style-type: none"> ●7月29日(土) 中央通りの一部 ●7月30日(日) 県道128号(旧国道125号)の一部 県道77号行田蓮田線の一部 中央通りの一部ほか
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●7月29日(土) フリーマーケット、露店(キッチンカー)出店、メイン及びサブステージの各種催し物(バンド演奏、歌謡、ダンス等)、山車のたたき合い ●7月30日(日) 露店出店、メイン及びサブステージの各種催し物(バンド演奏、歌謡、ダンス等)、だんべ踊り、町内神輿の渡御、山車の巡行及びたたき合い

来場者数	7月29日(土) 25,000名 7月30日(日) 40,000名 合計:65,000名
担当部署	環境経済部 商工観光課 (主催)行田浮き城まつり実行委員会 (後援)12団体、(協力)8団体

【状況写真】

山車のたたき合いの様子▶



◀ 三方領知替Tシャツを着用してだんべ踊りに参加した市役所連

- ▶ 「ぎょうだ郷土かるた—改訂版—」を使用した競技を行いながら、行田の歴史や文化などについて理解を深め、郷土を愛する心を育てていくことを目的とじてかるた大会を実施した。

日時	令和5年9月23日(土)
場所	行田市商工センターホール
事業内容	<p>三方領知替200年を機に、より青少年の健全育成に寄与することを願った大会</p> <p>●かるた対戦 44名が4名ずつの11グループに分かれ、それぞれ総当たりのリーグ戦を実施した。40名の定員枠であったが、44名の児童が応募・参加した。 参加児童・保護者・小学校長・中学生のジュニアリーダー・スタッフなど、多くの市民が来場し、子どもたちの白熱した対戦に歓声がとびかった。</p>
事業費	37,953円
来場者数	120名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市教育委員会、行田市青少年育成会連絡協議会 (後援)行田市子ども会育成連絡協議会

【状況写真】

当日会場の様子 ▶



◀ 子どもがかるた対戦をしている様子

▶ 青少年団体の連帯意識の向上を図り、“つくってあそぼう”をテーマに子どもたちの豊かな心を育てることを目的として、各団体より複数体験ブースを設け、親子で楽しめるイベントとして開催した。

日 時	令和5年10月8日(日)
場 所	行田市水城公園 市民広場
事業内容	<p>「元気いっぱい夢いっぱい」～つくって遊ぼう～をテーマに行田市ジュニア・リーダーズ・クラブやボーイスカウト埼玉県連盟行田第1団など9団体が、6つのブースを出展し、多くの子どもたちの来場を得た。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①バルーンアート ②らくがきコーナー ③ぶんぶんごま ④ぬいぐるみコーナー ⑤クラフトコーナー ⑥ふわふわドーム
事業費	市補助金 700,000円
来場者数	小学生以下の児童 約1,000名
担当部署	<p>生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)青少年育成行田市民会議 (主管)浮き城のまち行田こどもまつり実行委員会 (後援)行田市教育委員会</p>

【状況写真】

開会式の様子 ▶



▼ ぬいぐるみコーナーの様子



バルーンアートの様子 ▶



▶健康で明るく豊かな市民生活を築くため、スポーツ・レクリエーションを広く普及し、生涯にわたる市民のスポーツ活動を一層活発化するとともに、健康の保持増進・市民相互の連帯意識の高揚を図ることを目的として開催した。

日 時	令和5年10月22日(日)
場 所	行田市総合公園 自由広場
事業内容	<p>市内15地区の対抗戦で競技種目を実施するとともに、スポーツ大賞1地区、体育功労賞31名、優秀選手賞38名の表彰を行った。</p> <p>また、当日は素晴らしい秋晴れの下、第70回記念大会として盛大に開催、市内から約2,800人の選手が一堂に会し、日ごろの成果を発揮した。</p> <p>※新型コロナウイルスの影響により4年ぶりに開催</p>
事業費	<p>市費:1,479千円</p> <p>体育協会事業費:205千円</p>
参加者数	約2800名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市体育協会

【状況写真】

開会式の様子 ▶



▲ 白熱した競技の様子 ▶



- ▶ 友好都市の職員間の友好と親睦を深めるとともに、他市の業務に接することで職員の意識改革及び資質の向上を図ることを目的として、平成24年度から行っている友好都市職員交流研修を今年度も実施した。

日時	<ul style="list-style-type: none"> ●桑名市での研修 令和5年10月25日(水)～10月27日(金) ●白河市での研修 令和5年10月17日(火)～10月19日(木) ●行田市での研修 令和5年10月31日(火)～11月2日(木)
場所	桑名市役所、白河市役所、行田市役所
事業内容	<p>3市友好都市間で相互に職員を派遣し研修を実施しており、各市1名ずつ受入れ、研修生の希望部署で研修を実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●研修生の希望部署での実務研修 ●受入市の史跡や施設、実施事業の視察
事業費	80千円
参加者数	桑名市から行田市への研修生 1名 白河市から行田市への研修生 1名 行田市から各市への研修生 各1名(計2名)
担当部署	総務部 人事課

【状況写真】



▶ 行田市への研修生と市長との面談の様子

▶ 行田市での研修における市内施設見学の様子



- ▶ 少年が日常生活の中で考えていることを、「少年の主張」を通して市民に訴えることにより、広い視野に立って物事を考える力を養うとともに、市民の少年に対する理解を深め、もって青少年健全育成の推進を図ることを契機とし、三方領知替200年を機に「日本遺産」に認定された”足袋蔵のまち行田”の歴史と伝統を誇る”ふるさと行田”に親しみを覚え、健康で潤いと活力のある生活環境の充実を目指すものとして開催した。

日時	令和5年10月28日(土)
場所	行田市教育文化センター みらい 文化ホール
事業内容	<p>大会当日は、市内小中学校の代表児童生徒20名(小学生12名、中学生8名)から、活気に満ち情熱が込められた発表がされた。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●対象者 小学校5・6年生及び中学生 ●テーマ ・未来について考えること(希望・提案・将来の夢) ・学校・家庭・地域・社会・友達のこと、 ・日頃感じていることや訴えたいこと など ●作品応募数 小学生633名、中学生361名
事業費	143千円
来場者数	189名

担当部署

生涯学習部 生涯学習スポーツ課
 (主催)行田市教育委員会、青少年育成行田市民会議
 (後援)公益財団法人忍郷友会

【状況写真】

開会式の様子 ▶



▼ 発表している生徒の様子



表彰を受けている児童生徒 ▶



- ▶ 行田市域でも身近な動物であった馬に着目し、生業や信仰、娯楽の中で人々が馬に寄せた様々な思いとその時代背景を探る展覧会を開催した。初日にはオープンセレモニー、期間中には公開講演会と展示解説会を行い、市民を中心に多くの参加を得た。

日時	令和5年10月28日(土)～12月10日(日)
場所	行田市郷土博物館 企画展示室
事業内容	<p>●オープンセレモニー 日時:10月28日(土)午前10時～ 会場:講座室 参加者:39名</p> <p>●展覧会 郷土博物館収蔵の初公開資料をはじめ、馬の文化に関する資料を考古・歴史・民俗・美術の分野にまたがって多数展示した。展示資料の総点数86点。期間中展示替えを行った。</p> <p>●公開講演会 日時:11月26日(日)午後2時～ 演題:絵馬の起源を探る—古代史研究と民俗資料— 講師:早稲田大学文化学術院文化構想学部 教授 川尻秋生 会場:講座室 参加者:49名</p> <p>●展示解説会 日時:11月5日(日)、11日(土)、19日(日)、 25日(土)、12月3日(日) 参加者:計71名</p>

事業費	2,707千円
入館者数	13,769名
担当部署	生涯学習部 郷土博物館

【状況写真】

▼ 企画展示室の様子



三方領知替200年記念 令和5年度行田市・白河市・桑名市友好都市スポーツ交流事業

▶ 歴史的縁の深い行田市・白河市・桑名市の3市友好都市締結を受け、スポーツを通じて相互の友好を深めることを目的として隔年3市持ち回りで開催しており、三方領知替200年の節目となった令和5年は、行田市で行われた。

日時	令和5年11月11日(土)～12日(日)
場所	行田市総合体育館 行田市商工センター
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●ソフトバレーボール競技の交流会 3市の代表チームによる総当たり戦(男女混合の部、女子の部)を開催 ●3市交流レセプション 3市の親睦を深めるため、交流会後に忍城址周辺における花手水ライトアップを観覧後、商工センターにて忍城おもてなし甲冑隊による演武等を楽しんだ。 <p>※新型コロナウイルスの影響で4年ぶりに開催 (本市では8年ぶりに開催)</p>
事業費	市費:147千円 体育協会事業費:1,365千円
参加者数	72名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市体育協会

【状況写真】

▼ 会場に設置されたバックボード



▼ 集合写真に埼玉ポーズで臨む大勢の参加者



◀ 交流レセプションの様子

- ▶ 地域商工業者が来訪者とふれあいを深め商工業の振興を図るとともに地域社会のコミュニティ形成に寄与することを目的とし地元産品即売会、イベント等を実施した。

日時	令和5年11月12日(日) 10時00分～15時00分
場所	行田市役所周辺、忍城址 ほか
事業内容	<p>まつり当日は、市役所周辺や忍城址において戦国時代の武将に扮した武者行列や火縄銃を使った演武などが行われ、大勢の観客で多いに賑わった。</p> <p>また、数多くの市内商店が出店する物産大バザール、様々な企業や団体による事業活動PRブースなども設けられた。</p> <p>※友好都市締結25周年記念三市友好都市観光物産展と同時開催した。</p>
事業費	1,260千円(商工祭協賛補助金など)
来場者数	19,000名
担当部署	<p>環境経済部 商工観光課 (主催)第44回行田商工祭・忍城時代まつり 実行委員会(行田商工会議所)</p> <p>生涯学習部 郷土博物館(火縄銃演武団体)</p>

【状況写真】

▼ 大勢の来場者で賑わうバザール



▼ 武者行列の様子



▼ 火縄銃を使った演武



▶平成10年度の三市友好都市締結から、5年ごとに会場持ち回りで観光物産展を開催している。今年度は、行田市が会場となり、行田商工祭・忍城時代まつりと同時開催した。

日時	令和5年11月12日(日) 10時00分～15時00分
場所	行田市産業文化会館前
事業内容	<p>●主な内容 三市の特産品の展示即売、観光PR</p> <p>開催にあたり、各市特産品の展示即売を行ったほか、ご当地ゆるキャラの出演、観光資料の配布を実施し、来場者に広くPRした。</p> <p>また、本事業を通じて、三市交流の活性化を図りつつ良好な友好都市関係を維持し、親善をより一層深めた。</p> <p>※ 次回は、令和10年度に桑名市において友好都市締結30周年記念として実施予定</p>
事業費	167千円(会場設営委託料)
来場者数	19,000名(時代まつり来場者数)
担当部署	環境経済部 商工観光課 (主催)行田市

【状況写真】



◀ 来場者で賑わう観光物産展の様子



◀ 当日参加した三市のゆるキャラ



▶ 広く文化に親しむ人々の発表及び鑑賞の場を設けることで、行田市の文化の発展に寄与することを目的として、第75回行田市文化祭を開催した。市内各所の施設において、行田市文化団体連合会に加盟している各団体により様々なイベントや発表が行われた。

日時	令和5年11月16日(木)～11月19日(日) ●行田市菊花展10月31日(火)～11月13日(月) ●ステージ発表会11月23日(木) ●さきたま盆栽会11月24日(金)～11月26日(日)
場所	産業文化会館管理棟1階玄関ロビー・2階 コミュニティーセンターみずしろ 教育文化センター(学習室・ホール) 郷土博物館、埼玉公民館
事業内容	○展示部門(総勢1,241点の作品展示) 行田市工芸協会カリタスS41、行田市書道人連盟 行田美術会、行田市写真連盟、行田市華道会 行田フラワーデザイン協会、行田絵手紙あおい会 行田市俳句連盟、行田市菊花連絡協議会 さきたま盆栽会 ○大会・発表部門(囲碁大会、茶席2席、ステージ発表) 行田市茶道会、行田日本舞踊連盟、行田邦楽協会 行田市碁楽会
事業費	300千円

参加者数	3,287名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)埼玉県・埼玉県教育委員会・行田市・行田市教育委員会 行田市文化団体連合会・埼玉県芸術文化祭実行委員会 (公財)行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 (主管)埼玉県芸術文化祭行田市実行委員会

【状況写真】

ステージ発表の様子 ▶



◀ フラワーデザインを鑑賞している様子

▶ 障がい者(児)とその家族及びボランティアがスポーツレクリエーション大会への参加を通じて、お互いの交流を深めるとともに、障がい者(児)の健康増進と社会参加の促進を図り、地域福祉の向上の資することを目的として開催した。

日 時	令和5年11月18日(土) 10時00分 ~ 12時15分
場 所	行田市総合体育館 メインアリーナ
事業内容	<p>当日は競技者180名、ボランティア63名の総勢243名で計5種目の競技を実施した。</p> <p>●競技内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ボッチャ ・卓球バレー ・風船バレー ・サウンドテーブルテニス ・レクリエーション
事業費	127千円
参加者数	243名
担当部署	<p>健康福祉部 福祉課</p> <p>(主催)行田市、行田市教育委員会、行田市社会福祉協議会 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団</p> <p>(後援)埼玉県障害者スポーツ協会、行田市体育協会 障害者団体、障害福祉サービス事業所等</p>

【実施状況】

競技(ボッチャ)の様子 ▶



◀ 競技(風船バレー)の様子

- ▶ 人権問題の早期解決に向け、正しい認識と理解を深めるため、講演会を開催した。講演会当日は、定員500名の会場を埋め尽くす多くの市民の方が来場し、人権の重要性について理解を深めた。

日時	令和5年12月2日(土) 13時30分～15時20分
場所	行田市教育文化センター「みらい」文化ホール
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●人権教育合同学習講演会 演題:夢と絆 講師:新潟産業大学経済学部特任教授 蓮池薫 ●「人権ポスター展」 講演と同時に、市内の小・中学生が描いた人権ポスターを会場ホール入口に展示
事業費	189,860円
来場者	497名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市教育委員会、行田市人権教育推進協議会 行田市PTA連合会

【状況写真】

講師による講演の様子 ▶



◀ 掲示された人権ポスター

- ▶ 一般社会人チーム、小学生・中学生のチーム、市内の各地区体育協会チーム等、幅広い世代の参加者により、スポーツの振興と競技力の向上を目的として開催した。

日時	令和5年12月3日(日)
場所	行田市総合公園内周回コース
事業内容	<p>市内外から90チーム540名のエントリーがあり、2種目7部門で、5区間を継走した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●3000mコース <ul style="list-style-type: none"> ・一般男子の部 ・中学男子の部 ●1150mコース <ul style="list-style-type: none"> ・地区体育協会の部 ・一般男子の部 ・一般女子の部 ・中学女子の部 ・小学生の部
事業費	<p>市費:140千円 体育協会事業費:131千円 その他:229千円</p>
参加者数	540名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市体育協会

【状況写真】

▶ 一斉にスタートを切る各チーム



▼ 多くの声援を受ける選手たち



▶ 5区間のタイムを競う選手たち



▶将棋を通じて、小・中学生の思考力・集中力を高めるとともに、協力する心を養い、大会参加により他校の児童・生徒との親睦を深め、青少年の健全育成を図ることを目的として開催した。

日時	令和6年1月13日(土) 9時00分～15時30分
場所	行田市中央公民館(教育文化センター「みらい」内)
事業内容	<p>大会当日には、市内小・中学生の男女39名が参加し、行田市出身でプロ棋士の矢内理絵子女流五段が駆け付け指導に当たってくれた。</p> <p>子どもたちは矢内女流五段からの指導を向上心を持ちながら熱心に受けていた。対局には冷静かつ真剣に取り組んでいた。</p> <p>(1)個人戦 予選リーグ戦 決勝トーナメント戦</p> <p>(2)中央公民館長杯</p> <p>(3)プロ棋士による指導対局</p>
事業費	178千円
参加者数	39名
担当部署	生涯学習部 中央公民館 (主催)行田市教育委員会 (後援)日本将棋連盟行田支部

【実施状況】

矢内女流五段による指導対局の様子 ▶



◀対局している子どもたちの様子

- ▶ 児童の体力向上を目指すとともに、自己の記録に挑戦しようとする精神の育成を目的とし、市内小学生を対象に開催した。行田市総合体育館にて盛大に開催された。

日 時	令和6年1月27日(土)
場 所	行田市総合体育館 メインアリーナ
事業内容	<p>全7種目の競技に市内の小学生65名が参加した。日々の練習の成果を発揮しようと選手1人1人が一生懸命なわとびを競った。</p> <ul style="list-style-type: none"> ●個人の部 <ul style="list-style-type: none"> ・あやとび ・二重とび ・うしろとび ・あや二重とび ・親子二人とび ・時間とび ●団体の部 <ul style="list-style-type: none"> ・長なわ10人並びとび
事業費	市費:83千円 行田市スポーツ少年団事業費:7千円 その他13千円
参加者数	65名
担当部署	生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市学童スポーツ団体連絡協議会 行田市スポーツ少年団

【実施状況】

個人の部で各種目に参加する児童たち



団体の部で新記録に挑戦する児童たち

- ▶ 日本の伝統文化である囲碁を通じて、子どもたちの思考力や集中力を養うとともに、礼儀やマナーを育成し、地域文化の振興を図るために開催した。

日時	令和6年2月3日(土) 9時00分～16時30分
場所	行田市中央公民館(教育文化センター「みらい」内)
事業内容	<p>当日大会には県内外から中学生以下の男女66名が参加し、日本棋院からプロ棋士2名が駆け付けた。子どもたちはプロ棋士からの指導を熱心に聞いたり、対局の場面で緊張感を肌で感じたりするなど、各部門において囲碁を楽しんだ。</p> <p>(1)19路盤戦(20級以上対象) ・浮き城のまち選手権(ノーハンデ戦) ・ハンデ戦(棋力認定を兼ねる)</p> <p>(2)13路盤戦(21級以下対象)</p> <p>(3)プロ棋士による指導碁</p> <p>(4)親子入門教室(子ども、親のみでも可)</p>
事業費	166千円
参加者数	66名
担当部署	生涯学習部 中央公民館 (主催)行田市教育委員会、行田市碁楽会

【実施状況】

親子入門教室の様子 ▶



◀ 対局している子どもたちの様子

▶ 広く美術に親しむ人々の創作意欲と鑑賞による豊かな心の醸成を図り、行田市の文化の発展に寄与することを目的として、第26回公募行田市美術展を開催した。

日時	令和6年2月9日(金)～2月12日(月)
場所	行田市総合体育館 サブアリーナ
事業内容	<p>行田市及び行田市近隣の在住・在勤・在学者で15歳以上の方から合計323点の応募があり、開催期間中は多くの鑑賞者でにぎわった。</p> <p>●各部門の作品展示数</p> <ul style="list-style-type: none"> ・絵画部門 135点 ・彫塑部門 9点 ・工芸部門 37点 ・書部門 59点 ・写真部門 83点
事業費	1,197千円
担当部署	<p>生涯学習部 生涯学習スポーツ課 (主催)行田市美術家協会、行田市教育委員会 行田市産業・文化・スポーツいきいき財団 (主管)行田市美術展実行委員会 (後援)行田市、行田市文化団体連合会</p>

【状況写真】

▶ 展示された写真を鑑賞している様子



▼ 工芸が展示されている様子



▶ 展示された書を鑑賞している様子



(3) 広報・宣伝・PR等（6事業）

三方領知替200年を広く一般に周知するために実施した広報・宣伝・PR等

事業名	ページ
三方領知替200年記念 PR動画	39
三方領知替200年記念Tシャツを着用した議会の開催	40
行田市プレミアム付商品券	41
日本遺産「忍城下町」花手水タウンプロジェクト	42
友好都市の郷土料理を給食に提供	43
ウエルシア薬局株式会社との連携協定に基づく移動販売事業	44

- ▶ 令和5年6月に発足した動画プロジェクトチームが、三方領知替200年を記念して「三方領知替」について分かりやすく解説した動画を作成し、市公式ユーチューブで放映を開始した。

日時	令和5年7月26日放映開始
場所	市公式ユーチューブ
事業内容	<p>市職員による動画作成プロジェクトチーム「IGZO GYODA」において、三方領知替を題材にした動画を作成した。</p> <p>三方領知替について分かりやすく伝えること、市全体で意識醸成を図ることを目的に制作したもので、「シン・コウホウマンちゃんねる～エピソード1 トライアングル～」と題した4分24秒の作品。市職員が企画・出演・編集し、歴史的な史実について分かりやすくコミカルに解説している。</p>
担当部署	総合政策部 広報広聴課

【実施状況】

QRコード▶



▼ PR動画のトップ画面



三方領知替200年記念Tシャツを着用した議会の開催

- ▶ 9月定例会初日に記念Tシャツを着用した定例会を開催し、節目の年を祝すとともに本事業を広く発信した。
(記念Tシャツは「第30回 市民祭・行田浮き城まつり」の浮き城だんべ踊りに行田市役所連として参加した際に着用したもの)

日時	令和5年8月29日(火)
場所	行田市役所3階 議場
事業内容	<p>9月定例会初日に市議会議員及び市職員が記念Tシャツを着用した。</p> <p>また、ぎょうだ議会だよりNo.118(令和5年11月8日(水)発行)の表紙に記念Tシャツを着用して定例会に臨む出席者の様子を掲載し、ぎょうだ議会だよりNo.117及びNo.118の表紙にロゴマークを掲載した。</p>
参加者数	38名 (市議会議員及び市職員の本会議出席者など)
担当部署	議会事務局

【実施状況】

議場での集合写真 ▶



▼ ぎょうだ議会だより No.117



▼ ぎょうだ議会だより No.118

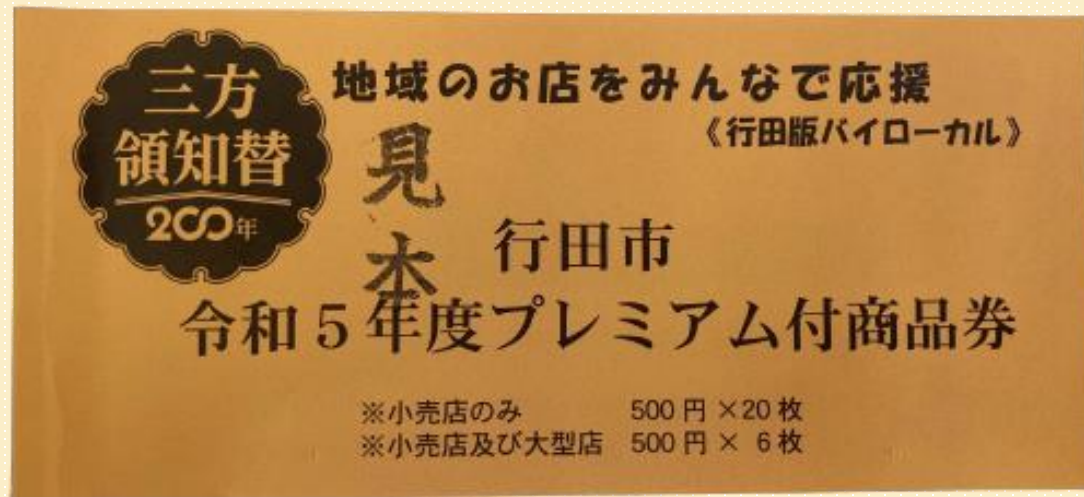


- ▶ 物価高騰等の影響を受けている市民及び市内事業者への支援や、地域経済の活性化を促すため、「行田市プレミアム付商品券」の販売に併せて、商品券の表紙や取扱店舗一覧に三方領知替のロゴマークを掲載した。

日 時	令和5年10月1日(日)～令和6年1月31日(水)
場 所	市内店舗等
事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ●販売単位 1冊10,000円(市内専用商品券500円券20枚、市内共通商品券500円券6枚、計13,000円分の商品券) ●販売冊数 20,000冊 ※11月6日(月)に完売 ●購入対象 市内在住の方 ●購入限度額 1人2冊20,000円まで ●利用期間 令和5年10月1日(日)～令和6年1月31日(水)
事業費	補助金6,700万円(うちプレミアム分6,000万円)
担当部署	環境経済部 商工観光課 (発行)行田市商店会連合会事務局

【状況写真】

- ▼ ロゴマークを入れた「行田市プレミアム付商品券」



- ▶ 令和2年度から取り組んでいる行田花手水week及びライトアップイベント「希望の光」において、11月と12月にスペシャルイベントを実施した。

日時	令和5年11月18日(土)、12月2日(土)
場所	忍城址、行田八幡神社、およびその周辺
事業内容	<p>11月と12月の行田花手水week及びライトアップイベント「希望の光」でスペシャルイベントとして以下の取り組みを実施した。</p> <ul style="list-style-type: none"> ①大花手水 ②提灯貸出 ③JapanShow ④人力車 ⑤キッチンカーイベント ⑥アートレーザーマッピング
事業費	20,900千円
参加者数	21,298名
担当部署	環境経済部 商工観光課 (一社)行田おもてなし観光局

【状況写真】

人力車の様子 ▶



▶ チラシ・ポスターデザイン

▶ JapanShowの様子



- 市内小・中学校において3市友好都市である行田市・白河市・桑名市の郷土料理を給食の献立に取り入れ、「食」を通して友好都市を身近に感じてもらう取組みを実施した。

日時	令和5年11月16日(木)、17日(金)、20日(月)
場所	市内全小・中学校
事業内容	<p>●3市の郷土料理を学校給食で提供 白河市:しらかわラーメン汁 桑名市:しぐれごはんの具 行田市:ゼリーフライ</p> <p>11月16日(木) (小学校)児童:2,636名 教員:208名</p> <p>11月17日(金) (小学校)児童:3,304名 教員:259名 (中学校)生徒:1,483名 教員:167名</p> <p>11月20日(月) (小学校)児童:671名 教員:49名 (中学校)生徒:1,671名 教員:170名</p>
事業費	約3,396千円
担当部署	学校教育部 学校給食センター

【状況写真】



◀ 11月16日、17日提供
しらかわラーメン汁

11月17日、20日提供
しぐれごはんの具
ゼリーフライ ▶



ウエルシア薬局株式会社との連携協定に基づく移動販売事業

- 市とウエルシア薬局株式会社が公民連携を通じ、人と人、人と資源がつながる仕組みを構築するものとして移動販売事業を開始し、これによって地域の買い物課題の解決を図りながら、併せて移動販売を通じた地域コミュニティの創出を図る。ウエルシア薬局株式会社の専門職による講座などを通じて、住民の健康増進や移動販売による買い物課題の解消や見守りといった地域課題の解決、地域の活性化など地域福祉の推進を図り、もって地域共生社会の実現に繋げる。

日時	令和5年12月15日(月)～実施
場所	移動販売実施場所各地
事業内容	移動販売車に搭載した大型モニタにおいて、実店舗との通信相談中以外の時間でのデジタルサイネージ動画として三方領知替のロゴを上映し、PRしたもの
利用者数	717名 ※令和5年12月15日から12月29日までの販売人数
担当部署	健康福祉部 地域共生社会推進室 (実施)行田市・ウエルシア薬局株式会社

【状況写真】



▼ ウエルシア薬局との協定締結時の様子



◀ 移動販売車によるデジタルサイネージ

(4) その他主な取組み (写真集)



移住定住イベントで配布した「オリジナルハンドバック」

▼舞台「忍伝説2023」

三方領知替200年 行田市・桑名市・白河市友好都市締結25周年記念
「忍」をモチーフに甲斐屋 × NPO五領館センターエンタメ事業部 コラボ
舞台 忍伝説2023
2023年 10月7日(土)17:00~
10月8日(日)13:00~17:00~
行田市教育文化センターみらい (埼玉県行田市) 24F
料金: 観劇一般3000円・小学生1000円 / 抽選一観劇2800円・小学生1000円
観劇抽選: 抽選日(土) 10月1日(日) 10時
※抽選当日抽選までのご予約は必須です。抽選結果は抽選当日の抽選結果発表ページにてお知らせいたします。
チケット予約ページ: <https://www.npo5ryoukan.or.jp/2310/>
チケット店頭販売: 「三方領知替200年」特設ページ
主催: NPO法人 五領館センター 企画: 行田市教育委員会 協賛: 行田市教育委員会 行田市教育委員会 行田市教育委員会 行田市教育委員会
行田市 桑名市 白河市 行田市教育委員会 TEL: 048-911-1337 0489-91111
行田市 桑名市 白河市 行田市教育委員会 TEL: 048-911-1337 0489-91111

市内店舗が記念に販売した「おむすび」



▼市ホームページバナー



▼市報ぎょうだ9月号(「三方領知替200年」特集P2-5)



図書館内に配置した「三方領知替コーナー」

▼市発注の工事現場に掲示された「看板」



6. 参考資料集

● 行田市三方領知替200年推進協議会設置要綱

行田市三方領知替200年推進協議会設置要綱

(目的及び設置)

第1条 本市の歴史的史実である忍藩、桑名藩、白河藩における「三方領知替」を通じた魅力ある地域を創出する取組を実現するため、構成団体同士が十分な連携や情報交換を行うとともに具体的な手法について検討することを目的に、行田市三方領知替200年推進協議会（以下「協議会」という。）を設置する。

(所掌事項)

第2条 協議会は、三方領知替を通じたまちづくりに関する内容の検討及び調整事項等を所掌する。

(組織)

第3条 協議会は、別表第1に掲げる者（以下「委員」という。）をもって組織する。ただし、委員が協議会に参加できない場合は、代理の者を出席させることができる。

(任期)

第4条 協議会の構成員の任期は、所掌事項の目的を達成したときまでとする。

(役員)

第5条 協議会に次の役員を置く。

(1) 会長 行田市長をもって充てる。

(2) 副会長 委員の中から選出された者をもって充てる。

2 会長は、協議会を代表し、その会務を総理する。

3 副会長は、会長を補佐し、会長に事故があるとき又は会長が欠けたときは、その職務を代理する。

(会議)

第6条 協議会の会議（以下「会議」という。）は、会長が招集し、会議の議長となる。

2 会長は、必要があると認めるときは、会議に委員以外の者の出席を求め、その意見又は説明を聴くことができる。

(庶務)

第7条 協議会の庶務は、総合政策部企画政策課において処理する。

(その他)

第8条 この要綱に定めるもののほか、協議会の運営に関し必要な事項は、会長が協議会に諮って別に定める。

附 則

この要綱は、令和5年7月25日から施行する。

別表第1(第3条関係)

職 名
行田市長
行田商工会議所会頭
南河原商工会会長
一般社団法人行田おもてなし観光局理事長
行田市自治会連合会会長
行田市商店会連合会会長
行田ロータリークラブ会長
行田さくらロータリークラブ会長
行田ライオンズクラブ会長
行田商工会議所青年部会長
行田青年会議所理事長
行田市PTA連合会会長
行田市文化団体連合会会長
行田市体育協会理事長
NPO法人行田観光物産会代表理事
公益財団法人忍郷友会事務局長
埼玉県利根地域振興センター所長

● 行田市「三方領知替200年」推進ロゴマーク使用取扱要領

行田市「三方領知替200年」推進ロゴマーク使用取扱要領

(趣旨)

第1条 この要領は、本市の歴史的史実である忍藩、桑名藩、白河藩における「三方領知替」から200年が経過したことを周知し、魅力ある地域を創出するため、「三方領知替200年」ロゴマーク（以下「ロゴマーク」という。）の使用取扱に関し、必要な事項を定めるものとする。

(図柄)

第2条 ロゴマークは、別図のとおりとする。

(申請)

第3条 ロゴマークを使用とする者（以下「申請者」という。）は、あらかじめ「三方領知替200年」使用承認申請書（様式第1号）に必要な書類を添付して市長に申請し、その承認を受けなければならない。

2 前項の規定にかかわらず、次の各号のいずれかに該当するときは、申請を省略することができるものとする。

- (1) 行田市三方領知替200年推進協議会の構成団体が使用するとき。
- (2) 学校等の教育機関が教育等の目的で使用するとき。
- (3) 報道機関が報道及び広報の目的で使用するとき。
- (4) その他市長が適当と認めたとき。

(承認の基準)

第4条 ロゴマークの使用を承認する基準は、ロゴマークを使用しようとする事業等の内容が次の各号の全てを満たすものとする。ただし、市長が特に必要と認めた場合は、この限りでない。

- (1) 市の施策に関連する事業等において使用するものであること。
- (2) 市の信用又は品位を損なうものでないこと。
- (3) 法令等に違反するものでないこと。

- (4) 公序良俗に反するものでないこと。
- (5) 人権侵害につながるおそれのないこと。
- (6) 選挙活動その他政治的な活動に使用するものでないこと。
- (7) 宗教的な活動に使用するものでないこと。
- (8) 暴力団員による不当な行為の防止等に関する法律（平成3年法律第77号）第2条に規定する暴力団及び暴力団員並びにこれらに準ずる者の利益になるおそれのないこと。

(使用の範囲)

第5条 市長は第3条の規定により申請書の提出があった場合は、審査の上内容が適正と判断される場合は、「三方領知替200年」推進ロゴマーク使用承認（不承認）決定通知書（様式第2号）により申請書に通知するものとする。

(使用の遵守事項)

第6条 前条の規定によりロゴマークの使用の許可を受けた者（以下「使用者」という。）は、次の各号に掲げる事項を遵守しなければならない。

- (1) 使用の許可を受けた目的にのみロゴマークを使用すること。
- (2) ロゴマークを使用する権利を第三者に譲渡し、又は転貸しないこと。
- (3) ロゴマークを改変する一切の行為をしないこと。
- (4) ロゴマークに商標権、意匠権その他の権利を設定しないこと。

(申請内容の変更)

第7条 使用者が、許可を受けた内容を変更しようとするときは、事前に市長と協議するものとする。

(使用承認の取消し)

第8条 市長は、使用者が次の各号のいずれかに該当すると認めるときは、当該使用の承認を取り消すことができる。

- (1) 虚偽又は不正な方法により使用承認を受けたことが明らかになったとき。
- (2) 第4条の各号のいずれかに違反したと認めるとき。
- (3) ロゴマークの使用により市に不利益が生じ、又はそのおそれがあるとき。
- (4) 前各号に掲げるもののほか、市長が市章の使用の承認を取り消すことが必要と認めたとき。

2 市長は、前項の規定により使用の承認を取り消したときは、「三方領知替200年」推進ロゴマーク使用承認取消通知書（様式第3号）により当該使用者に通知するものとする。

3 前項の規定による通知を受けた使用者は、直ちにロゴマークの使用を中止するものとする。

(免責)

第9条 市長は、前条第1項の規定によるロゴマークの使用許可の取消しにより使用者に損害が生じることがあっても、その責めを負わない。

2 使用者が、ロゴマークの使用によって、第三者に対して損害又は損失を与えた場合でも、市長は、損害賠償、損失補償その他法律上の責任を一切負わない。

(使用期間)

第10条 ロゴマークの使用期間は、承認を受けようとする日から令和6年3月31日を超えない範囲とする。

(使用料)

第11条 ロゴマークの使用料は、無償とする。

(補則)

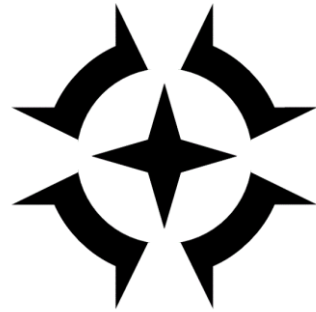
第12条 この要領に定めるもののほか、ロゴマークの使用取扱いについて必要な事項は市長が別に定める。

附則

この要領は、令和5年7月25日から施行する。

別図 「三方領知替200年」推進ロゴマーク





行田市三方領知替200年推進協議会事務局

行田市 総合政策部 企画政策課

〒361-8601 埼玉県行田市本丸2-5

TEL:048-556-1111

E-mail:kikakuseisaku@city.gyoda.lg.jp